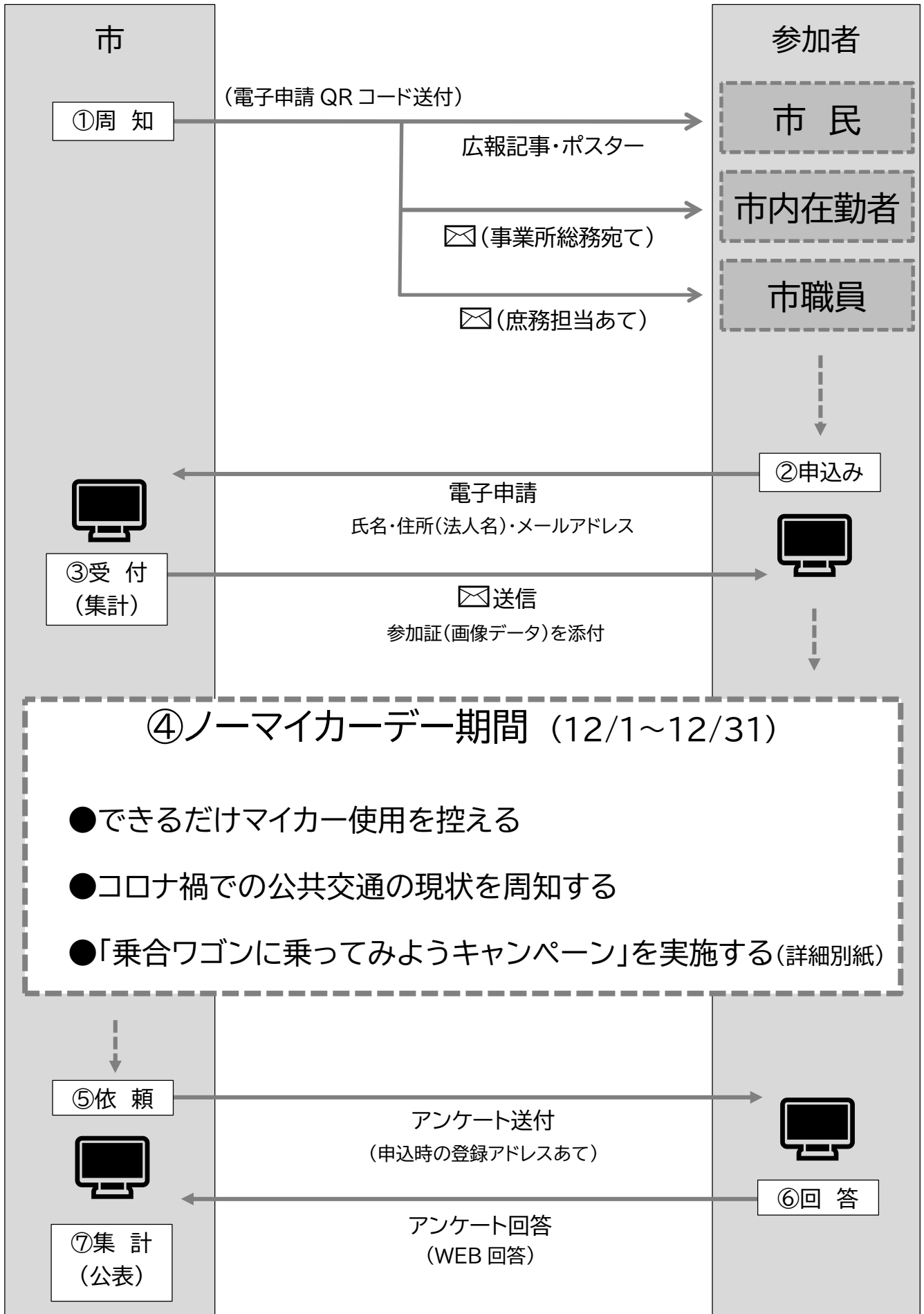


事業企画書(案)

- 1 事業名 2021 はんのう市ノーマイカーデー
- 2 背景 路線バス、鉄道等の公共交通の果たす役割は、地域住民の移動手段の確保、市内外の人の交流による賑わいの創出、温室効果ガスの削減等多岐にわたり、今後ますます重要となってくる。しかしながら、市の公共交通を取り巻く状況は、少子高齢化、自家用車（マイカー）利用の増加、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛等により利用者が減少しており、公共交通の運行本数の減少等のサービスの低下につながるなど、一層厳しいものとなっている。
- 3 目的 当事業は、飯能市において、マイカーに依存するライフスタイルを見直し、公共交通を維持・確保するための利用促進及び意識啓発を目的とする。
- 「飯能市地域公共交通網形成計画」での位置づけ

 - ・基本目標 2 路線バスを身近にして公共交通を「育てる」
 - ・施策 2 市民・地元企業を巻き込んだモビリティ・マネジメントの実施
 - ・②通勤・通学者等に対するモビリティ・マネジメント
- 4 期間 令和3年12月1日（水）～12月31日（金）
- 5 対象者 主に飯能市における在勤者、在住者
- 6 内容 ●キャッチフレーズ「わたしたちの行動は、わたしたちのまちの未来を変える！」
実施期間中、可能な限り自家用車の使用を控え、鉄道、路線バス、自転車、徒歩等で通勤、通学、買い物等をするよう協力を呼びかける。また、あわせて「乗合ワゴンに乗ってみようキャンペーン」（詳細別紙）を実施し、当該ワゴンの利用周知、利用促進を図る。
- 7 期待する効果 (1) 公共交通の利用促進及び意識啓発
(2) 地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出削減
(3) 徒歩等での通勤による市民の健康増進
- 8 効果測定 電子申請システムを活用し、参加者にアンケート（内容未定）を実施する。
市で集計し、結果を公表する。
- 9 主催 飯能市（担当：市民生活部生活安全課交通政策室）

2021 はんのう市ノーマイカーデー 事業イメージ



乗合ワゴンに乗ってみようキャンペーン 企画書(案)

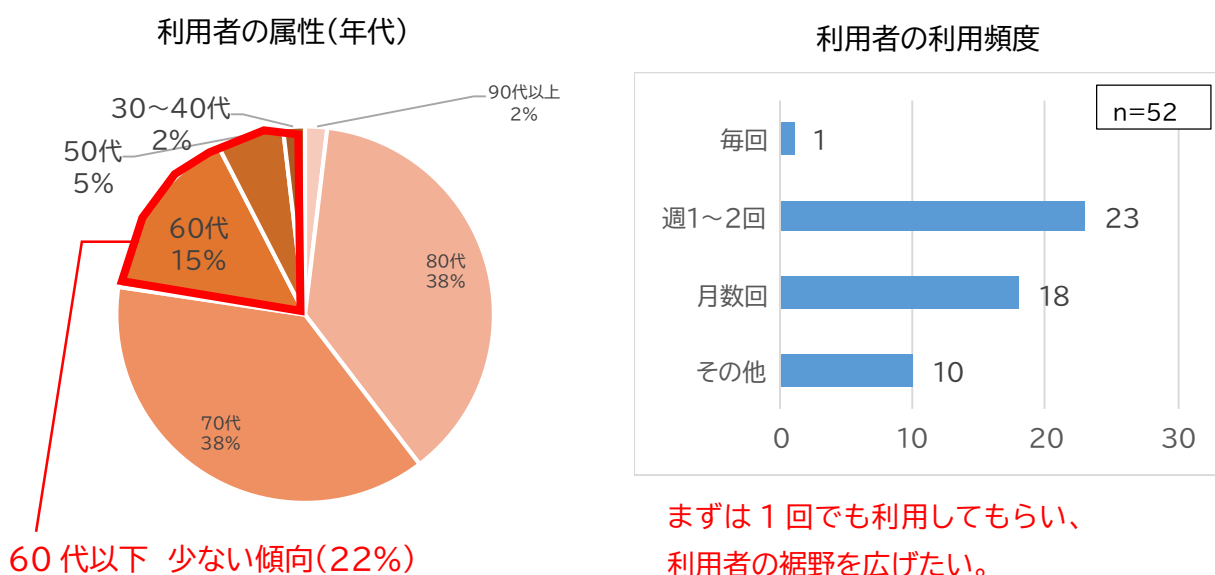
1 背景

令和3年3月10日から実証運行を開始した飯能市乗合ワゴンについて、令和4年1月から本格運行を開始するが、その利用者は70歳以上がほとんどであり、60歳代以下の利用者は少ない傾向にある。今後、持続的な運行を続けるにあたり、利用者層の幅を拡大していくことが課題となっている。また、利用者数の目標である「1便あたり5人以上」を達成するため、今後ますます利用周知が必要となっている。

2 目的

「2021 はんのう市ノーマイカーデー」での取組の一環として、飯能市乗合ワゴンを持続可能な移動手段とするため、当ワゴンの認知度を上げるとともに、特に **60歳代以下の利用者数の増加**を図り、利用者の裾野を広げることを目的として実施する。

参考:乗込調査結果(R3.7実施)



3 実施内容

(1)内 容 「2021 はんのう市ノーマイカーデー」の参加証のモバイル画面を提示することにより、運賃を免除する。

▶特に60代以下の年代に訴求するため、**参加証の提示を条件**とする。

(2)期 間 12/1~12/31 ※2021 はんのう市ノーマイカーデー実施期間

▶ワゴン車内の密を回避するため、対象期間は1か月とする。

(3)検 証 期間中の無料乗車数及び参加者へのアンケートにより検証を行う。

4 その他

運賃の無償化について、地域公共交通対策協議会(10/20開催)の議題とし、無償期間終了後、国土交通省に報告する。